



学校通訳者倫理規定

子供の学校と効果的にコミュニケーションを取るために

米国連邦法は、学校が、英語に堪能な保護者と共有される全プログラム、サービス、または活動についての情報を、英語を学習している生徒の保護者が理解できる言語で伝達することを義務付けています。これには以下に関する情報が含まれます。

- 学校への登録
- 言語支援プログラム
- 成績表
- 生徒の規律に関する方針と手順
- 保護者面談
- 苦情申し立ての手順
- 生徒と保護者のハンドブック
- 英才教育プログラム
- マグネットスクールとチャータースクール
- 特殊教育および関連サービス
- 課外活動に関する情報
- 無差別に関するお知らせ

通訳者とは、子供の先生や学校関係者との直接面談、ビデオ面談あるいは電話面談などで言語サポートを提供できる人のことです。翻訳者とは、英語で書かれた文書を、保護者が選択した言語に再作成し、理解ができるようにサポートできる人です。通訳が機能するためには、必要に応じて、関係者全員が協力し、質問をし、繰り返しや明確にわかるまでの説明を求める必要があります。明確でない場合には、通訳者に説明を求めるか、あなたが理解していないことを学校職員に伝えてください。通訳者はあなたからの要求を伝えることができますが、通訳があなたの質問に直接答えるべきではありません。以下は、通訳者と翻訳者が、学校であなたをサポートする際に従わなければならない規則です：

<p>守秘義務： 通訳者は、常にあなたの情報とあなたの子供に関連する情報を保護しなければなりません。会議中に共有される情報、または学生の記録、成績証明書、医療記録などの文書で共有される情報は、通訳に教師や他の学校職員に伝達する許可を与えない限り、非公開にしておく必要があります。</p> <p>家族の教育の権利とプライバシー法または FERPA は、この情報がどのように保護されるかを説明する法律です： https://www2.ed.gov/policy/gen/guid/fpco/ferpa/index.html</p>	<p>正確性： 通訳者は、あなたのメッセージを変更したり、言った情報を削除したりせずに、言ったことを、正確に言った通りに伝える必要があります。通訳者は、あなたのメッセージが正確に確実に伝わるように、単語や表現のわからない部分について質問することがあります。</p> <p>敬意： 通訳者は、常にあなたと学校職員に敬意を払う必要があります。通訳者は、プロ意識に準じて対立を解決する必要があります。通訳者から敬意が示されていないと感じた場合は、学校に知らせることが重要です。</p>
<p>公平性： 通訳は常に公平である必要があります、カウンセリングやアドバイスを提供したり、個人的な意見や信念を提供したりすることはできません。通訳者が、あなたの通訳として行動する際に、どちらかに決断をするように、あなたを説得することはできません。</p>	<p>擁護： 通訳者は、あなた自身の権利を保護し、あなたの声が確実に届くようにサポートします。あなたや、あなたの子供に何か不公平ではないと感じる時には、学校に知らせることが重要です。</p>
<p>職業的境界： 会議中、通訳者は通訳者としてのみ行動しなければなりません。通訳者は、あなたの質問や懸念事項に答えることができる学校の職員とのコミュニケーションをサポートします。</p>	<p>プロフェッショナリズム： 通訳者は常にプロフェッショナルでなければなりません。通訳者は会議に遅れてはなりませんし、常にあなたと学校への敬意を示すべきです。</p>
<p>文化的意識： 通訳者は、あなた、あなたのお子様、そしてあなたの文化的信念と実践に敬意を示すべきです。通訳者は、教師と保護者の間の文化的な誤解を解く手助けをしますが、通訳者は、必ず最初にあなたの意見を求めるべきです。</p>	<p>専門家としての発展： 通訳者は、情報理解に役立つ新しいスキルと語彙を学び続ける必要があります。通訳者は常に学習を続けるべきです。</p>



National Association of Educational Translators and Interpreters of Spoken Languages
P.O. Box 944, Snellville GA 30078 naetisl@gmail.com * www.naetisl.org